

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 マルチフォトメーター用試薬 PPHPPLR150
 品番 3-9792-49
 会社名、部署名 アズワン株式会社品質保証部
 住所 〒550-8527 大阪市西区江戸堀2-1-27
 電話番号 06-6447-8614
 FAX番号 06-6447-8664
 推奨用途及び使用上の制限 マルチフォトメーターを用いた水質検査

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分5 H303
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1 H314
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A H319

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ H303
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H314
 強い眼刺激 H319

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと P260
 取扱い後はよく手を洗うこと。 P264
 適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P280

応急措置

気分が悪いときは医師に連絡すること。 P312
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P301+P330+P331
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 P303+P361+P353, P363
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 P304+P340, P310
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P305+P351+P338
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313

保管

施錠して保管すること。 P405

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。 P501

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	硫酸水素ナトリウム	アジピン酸(Adipic acid)
別名	Sodium bisulfate	ヘキサジカルボン酸(Hexanedioic acid)、1,4-ブタンジカルボン酸(1,4-Butanedicarboxylic acid)
分子式(分子量)	HNaO4S(120.061)	C6H10O4 (146.14)
化学特性(示性式又は構造式)		
CAS番号:	7681-38-1	124-04-9
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	化審法:(1)-501 安衛法:1-(3)-227	(2)-858
濃度又は濃度範囲	>90%	1~10%

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤

特有の危険有害性

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
 環境中に放出してはならない。
 漏洩物を拭き取り、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
保管

適切な保護具を着用し、試薬及び測定対象液が眼や皮膚に触れないよう注意する。
子どもの手の届かない、乾冷暗所に保管すること。
商品パッケージのまま保管すること。
直射日光を避け、冷暗所に保管する。
酸性雰囲気中には保管しないこと。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

未設定

	硫酸水素ナトリウム	アジピン酸(Adipic acid)
日本産衛学会	未設定(2007年度)	未設定(2014年度)
ACGIH	未設定(2007年度)	TLV-TWA 5 mg/m ³ (2014年度)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態
形状
色
臭い

粉末
白
無臭

混合物として融点、沸点、引火点、発火点、爆発限界下限、蒸気圧、密度、比重、溶解性、Pow、動粘性率等のデータなし。

10. 安定性及び反応性

安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

保管上の注意に基づく保管においては安定と考えられる。
データなし
加熱、燃焼、直射日光
データなし
燃焼により有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性
経口

硫酸水素ナトリウムのラットLD50値 2490 mg/kg (IUCILID (2000))、アジピン酸のラットLD50値3,615 mg/kg (ACGIH (7th, 2001))より、加算式に従って計算した混合物のLD50値は2570mg/kg。よって区分5とした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データはないが、英文SDSに「H314: Causes severe skin burns and eye damage.」との記載があるため、区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

硫酸水素ナトリウムに関して、ウサギの24時間ばく露試験での評価結果は「刺激性(irritating)」であり(IUCILID (2000); OECDガイドライン405, GLP対応)の結果に基づき区分2Aとした。本試薬には90%超の硫酸水素ナトリウムが含まれるため、区分2Aとした。

12. 環境影響情報

混合物についてのデータはない。個別物質について記す。

硫酸水素ナトリウム
水生環境急性有害性
水生環境慢性有害性

甲殻類(オオミジンコ)の48h-EC50=190mg/Lである(IUCILID 2000)ことから、区分外とした。
急性毒性分類が区分外であり、難水溶性ではない(水溶解度=1080g/L、IUCILID 2000)であることから、区分外とした。

オゾン層への有害性

データなし

アジピン酸(Adipic acid)
水生環境急性有害性
水生環境慢性有害性

甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50=46mg/L(環境省生態影響試験、1997)から、区分3とした。
急速分解性があり(BODによる分解度:81%(既存化学物質安全性点検データ))、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow=0.08(PHYSPROP Database、2005))ことから、区分外とした。
当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

オゾン層への有害性

13. 廃棄上の注意

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制
国連番号
国連危険有害性クラス
容器等級
国内規制
海上規制情報
航空規制情報
陸上規制情報

該当しない
該当しない
該当しない
船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
毒劇法及び消防法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

アジピン酸:
名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)
名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)

毒物及び劇物取締法

該当しない

16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。

注)この情報は、必ずしも充分ではないので、取扱いには注意をお願いします。
本データシートは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。